

# 墜落3カ月また脅威

【中・北部】米軍嘉手納基地所属のHH60救難ヘリコプターから訓練中に重さ500kgのカメラが落下していたことが1日、判明した。8月に宜野座村のキャンプ・ハンセン内で同型機が墜落してから、わずか3カ月。訓練の飛行ルートにあたる本島中北部の住民からは、度重なる米軍機のトラブルや安全管理のあり方などに対し、不安や怒りの声が続出した。

(1面参照)

## 米軍ヘリからカメラ落下

## 住民、憤りと嘆き

宜野座村福山区の比嘉徳信区長は、HH60救難ヘリが10月30日も午後3時すぎから2機編隊で旋回を繰り返すのを目撃。「1時間以上、機体を大きく傾けながら旋回し、民間地も頻繁に飛行していた。被害が出てないから良かった、では済まされない」と問題視した。

同型機が墜落炎上した事故現場に近い宜野座区の大城武区長は「墜落原因もまだ明らかにならない中で米軍ヘリの問題が続いている

### 2000年以降の米軍機による主な落下事故

2001年	6月 13日	普天間基地所属のCH53ヘリが宜野湾市内の住宅隣にバグ
02年	4月 8日	嘉手納基地所属のF15戦闘機が同基地内で訓練用照明弾
	17日	普天間基地所属のCH53ヘリが滑走路に燃料補助タンク2個
	24日	嘉手納基地所属のF15戦闘機が沖縄南東海上に風防ガラス
03年	1月 18日	普天間飛行場内に在沖米海軍P3Cの墜落位置通報装置
	8月 13日	嘉手納基地滑走路に同基地所属F15の訓練用照明弾
04年	6月 15日	北谷町美浜の民家庭に米海兵隊所属FA18戦闘攻撃機の金属製落下物
	12月 21日	沖縄本島北東海上に嘉手納基地所属F15の補助翼下端部分
05年	11月 1日	沖縄本島北西海上に嘉手納基地所属F15の水平尾翼前方部分
06年	3月 30日	嘉手納基地上空で同基地所属F15が訓練用照明弾を誤射
	8月 25日	嘉手納基地で同基地所属F15の陸軍貯油施設に訓練用照明弾
08年	4月 9日	海兵隊所属ハリヤー攻撃機が島鳥射爆場で爆弾2発誤投下
10年	4月 7日	嘉手納基地所属のF15戦闘機がホテル・ホテル訓練区域に模擬ミサイルの安定板
11年	3月 30日	岩国基地所属のハリヤー戦闘機が嘉手納弾薬庫地区上空で訓練用照明弾を誤投下
12年	9月 3日	海兵隊が渡名喜村で模擬爆弾を落下
13年	2月 5日	普天間基地所属のオスプレイが基地外で水筒を落下
	4月 2日	普天間基地所属のAH1攻撃ヘリが燃料タンクのキャップを紛失

る。飛んでいるだけで住民は不安。万が一があつてからでは遅い」と憤った。

金武町議会の仲里全孝議長も「墜落事故の原因も定かでない中、緊張感が足りない。憤りを感じる」と批判。「米軍は安全な運用に自信を持っていたとしてもこういう事態が続けば住民は納得できるはずがない」と突き放した。

うるま市美原区の仲宗根洋子自治会長は「上空を飛ぶ米軍機がいつ落ちてくるか、毎日心配しながら暮らす中で、またかという感じ。言葉が見つかからない。私たちがいつも危険にさらされている。米軍の手のひらの上でしか生きられないのか」とため息をついた。